講義名	対1)教養特講Ⅰ（人の心を科学的に考える）					授業形態	
担当教員	池田　曜子	開講期・曜日・時限	前期 金曜日 ３時限				
		単位数	2	履修開始年次	１年生	ナンバリング	

主題と概要

人の心については、現代社会では日常内の多様な機会で取りあげられるようになっている。そのため、これまで聞いたり体験したりした内容から、なんとなく知っているつもりになっている人もいるかもしれない。しかし、心とはいったい何を指しているのか、そして、科学的に心をとらえるとはいったいどのようなことなのかについて考える機会は、あまりなかったのではないだろうか。
本講義では、受講者が、考え、感じ、行動する力とそのメカニズムを知ることによって、改めて人の心について思索をめぐらせ、日常生活や今後の大学生活について考えるきっかけとなることをめざしている。

到達目標

①科学的な考え方とは何かを理解できる
②講義でとりあげた内容について、自分の日常生活内の事例を探すことができる
③人の心について自分なりにとらえ直し、今後の日常生活内において活用することができる

提出課題

各回の授業への感想
課題に対する成果物

課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバックの方法

各授業時に提出していただいた課題内容について共有すべき内容や質問については、次週の授業の初めにフィードバックを行います。

評価の基準

最終試験（70%）と授業内での課題（30%）を総合的に評価する。

履修にあたっての注意・助言他

人の心について関心を持ち、自分なりに考えることが必要です。
ただ知るだけでなく、自分の日常生活や行動に照らし合わせて、自分なりに応用できる形へを変えてください。
授業においては、配布資料にメモを取る癖をつけ、授業を受ける態度を身につけてください。

教科書

・使用しない.				

参考図書

その他

参考文献は、授業内で紹介します。

授業計画

1.人の心とは何か/科学的な考え方とは何か
2.記憶と認知（1）
3.記憶と認知（2）
4.画像とイメージ
5.空間の認知
6.人間の発達
7.ほめることの大切さ（1）
8.ほめることの大切さ（2）
9.「やる気」とはなにか（1）
10.「やる気」とはなにか（2）
11.幸福感
12.学習方略（1）
13.学習方略（2）
14.メタ認知
15.最終試験

授業形態（アクティブ・ラーニング）

	ア：PBL（課題解決型学習）		イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
	ウ：ディスカッション、ディベート		エ：グループワーク
	オ：プレゼンテーション		カ：実習、フィールドワーク
	キ：その他（ＡＬ型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合）		

準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間

予習：各回で配布された資料を再度確認し、理解を深めるとともに不明な点を明らかにしてから次の授業にのぞむこと（2時間）
復習：授業の内容を振り返り、自分の日常生活において事例を探し、実践を試みること（2時間）

卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

本講義を受講することで得られる知識は、「気づきの教育」の一環として、「なりたい自分」を発見するための基礎となる。さらに、自分の特性に気づくだけでなく、今後どのような知識をさらに身につけたいかについて考える基礎となる。

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

双方向授業は実施しない。

実務経験の有無及び活用

備考

自分で選んで受講したことを忘れず、積極的な態度で授業に参加してください。
また、新たなことに興味・関心を持ち、これまでとは違った見方をしてみることを心がけてください。